



# 読書活動日本一の

## まちづくりニュースVOL.8

編集：教育委員会読書推進課 発行：平成27年4月1日

### ★ 第8回読書活動日本一のまちづくり推進大会開催！

平成27年2月7日（土）市音楽ホールで第8回読書活動日本一のまちづくり推進大会を開催しました。優秀実践校（園）や地域の表彰に続き、「事例発表」、「高校生によるクイズ」、「講演」を行いました。内容は、読書の楽しさや家読（うちどく）の様子、笑顔で生活するための一つのツールとしての読書など多彩なもので、アンケートの結果を見てもご来場の方々に満足していただけた様子がわかります。

「家読（うちどく）」についても、寸劇を交えた事例発表をみて、「家読のやり方がよくわかった。」という声を多く聞くことができました。今後も、「家読（うちどく）」をより理解していただけるような内容を検討し、推進大会で市民の皆様にご提案していきたいと考えております。

### 「読書によるひとづくり ふるさとづくりのまち 出水市」



### ★ 寄附をいただきました！

札幌に在住の方から、市内14小学校に図書寄附をいただきました。これは、平成25年に申出をいただき、「どのような本をどんな形で子どもたちのもとへ届けるのが、一番いいのか。」と寄贈者の宮崎様と読書推進課で話し合いを進めてきた結果、平成27年3月に各校約230冊総額500万円相当の図書を寄附していただく運びとなりました。



寄附していただいた宮崎様の考え方

- 1 小規模校、大規模校の別なくすべての学校に同じ冊数を寄附したい。
- 2 少しでも小さい時に、良書に出会い、そのことがきっかけで人生が良い方向に向かってくれる子がたとえ一人でもいてくれたら、寄附した甲斐がある。

「札幌すすらん文庫」として、設置していただき、親しみをもって今後、各校様々な読書活動に利用していただけることと思っています。

寄附のきっかけの一つは、ホームページの記事だったそうです。今回の件で、大きな目標を立てて発信することの大切さを痛感しました。

# 始まります！セカンドブック事業

出水市読書活動推進計画（第二次）4つの基本方針中、**年齢期に合わせた読書活動の推進と支援**の事業として、平成21年度から実施している「ブックスタート事業」のフォローアップ事業として実施するものです。

「ブックスタート事業」で本と出会い、読み聞かせの良さを実感した親子に、2歳児歯科相談の場で、再度、**絵本を手渡し、読み聞かせを行うことにより**、継続した年齢期に応じた読書活動の確立を目指し、「家読（うちどく）」の推進、ひいては、「読書活動日本一のまちづくり」実現を達成することを目的としています。

## 対象児

2歳児歯科相談に訪れる幼児とその保護者  
平成25年4月2日以降に生まれた幼児

## 日 時

毎月第2火曜日 午後1時から受付

## 場 所

出水、高尾野、野田地区とも保健センターで同時に行う。

## その他

教育委員会読書推進課、健康増進課、読書ボランティアが協力して行う。

## 贈呈するもの

ひろかわさえこ 作

## 「ぷくちゃんすてきなぱんつ」

～あらすじ～

おむつをはいてるぷくちゃんのために、おかあさんがすてきなぱんつを何枚も買ってきてくれました。ぷくちゃんはぱんつに興味を示しますが、失敗ばかり。

でもそのたびに、おかあさんは「だいじょうぶ。おかわりぱんつ。」とすてきなぱんつを差し出します。この絵本のおかげで、おむつ外しが楽にできましたと好評の1冊です。

